

## 学生会員の特典と制限「正会員との違いを教えてください」

学生会員は、正会員とほぼ同じ扱いとなりますが、一部違う点もあります。  
講師が学生会員は参加不可とした研修会（大会時の研修会も含みます）には参加が制限される場合があります。その他はすべて参加可能です。  
学会時のポスター発表は「学生交流コーナー」（仮）に限られます。  
機関誌「学校心理学研究」への投稿はできません。  
年1回の大会時に行われる「会務総会」には議決権がないため参加できません。

## 入会資格「入るための資格を教えてください」

4年制の大学学部、短期大学、高等専門学校、専門学校等に在籍し、心理教育的援助サービスの研究、研修、学習あるいは実践を行っている学生です。  
ただし、大学院生の方は正会員扱いとなります。

## 入会方法「どうやって入会するの？」

本学会HPから「入会申込書」をダウンロードしてください。  
必要事項を記入後、推薦者欄に在籍校の指導教員等の先生からサインをもらってください。  
在学証明書を添付して、学校心理学会事務局へ郵送してください。  
なお、常任理事会での入会審査を通った後に会費を払い、会員番号が通知された時点で会員となります。

## 会費「いくらかかるの？」 初年度は正会員より9,000円もお得です。

入会金免除（正会員より5,000円お得です。）  
年会費は学生価格です。3,000円（正会員より4,000円お得です。）

## 問い合わせ先

日本学校心理学会 会員窓口

月～金（9:00～17:00）

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター

TEL 03-6824-9375 FAX 03-5227-8631

E-mail [jspa-office@as.bunken.co.jp](mailto:jspa-office@as.bunken.co.jp)

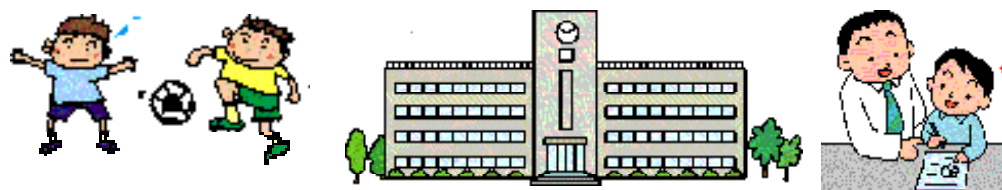
◎まずは、本学会ホームページをご覧ください

日本学校心理学会



## 学生会員入会のご案内

ー4年生の大学学部、短期大学、高等専門学校、専門学校等に在籍している皆さまへー



日本学校心理学会は、現場の教員やスクールカウンセラー、大学関係者や学生、保護者など、様々な立場の異なる専門家が集まって、子どものことをみんなで考える学会です。

## 学校心理学とは

学習困難、いじめ、不登校、非行、発達障害などの問題に関して、苦戦している子どももいます。学校心理学は、学習支援、生徒指導・教育相談、特別支援教育、学校保健などの視点から検討されている子どもへの援助活動について、共通の枠組みを作ろうとするものです。

学校心理学は、「一人ひとりの子どもが学校生活を通して出会う問題への対応と解決を援助する心理教育的援助サービスの理論と実践」を支える体系です。学校教育のシステムを、ヒューマン・サービスの視点からとらえ、教師、スクールカウンセラー、保護者らがチームとなり、学校や地域の援助資源を活用して、子どもの成長を支えることを目指しています。子どもへの関わり方、教師や保護者など援助者の相互の支えあい、また学校・地域の援助サービスのシステムについて、基本的な考え方と具体的な方法・ツール（道具）を提供します。

## 研修会参加

年3回行われている研修会への参加が可能です。専門的に学べます。



最近の研修会のテーマ例

- ・学習スタイルと指導法について－新しいKABC-IIとの関連で－
- ・いじめ問題の現状と課題－かけがえない自分を育むために－
- ・「発達障害様症状」を示す子どもたちと家庭への支援

機関誌「学校心理学研究」が年1回届きます。実践に重きをおいたすばらしい研究が掲載されています。

ニューズレター（JSPA letter）が年数回発行されます。最新の本学会の動向を知ることができます。



## 大会参加

年1回の大会への参加が可能です。最先端の現場での研究を学ぶことができます。大会での「学生交流コーナー（仮）」でのポスター発表が可能です。

現場の小・中・高・大学教員の皆様や、行政職、スクールカウンセラー等の皆様から研究への助言がもらえます。

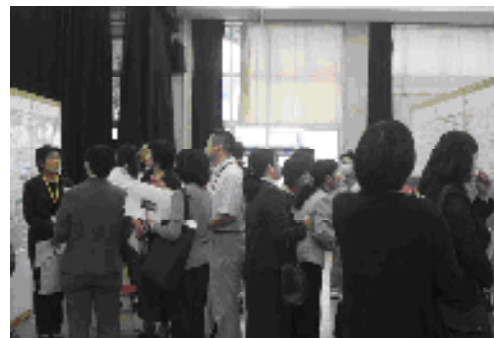
大会時に行われる懇親会に参加が可能です。会食をしながら親睦を深めることができます。



理事長による記念講演の様子



パネルディスカッションの様子



大会でのポスター発表の様子  
発表者は研究内容についてポスターを作成・発表し、参加者と討論している様子です。研究のヒントが得られる機会になっているようです。



2012年 高知大会 懇親会での  
高知大学生による、よさこいのパ  
フォーマンス